

## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月11日

上場会社名	株式会社クラウドワークス	上場取引所	東
コード番号	3900	URL	https://crowdworks.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)吉田 浩一郎	
問合せ先責任者	(役職名)取締役	(氏名)月井 貴紹	(TEL) 03(6450)2926
四半期報告書提出予定日	2021年8月11日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	5,575	—	437	—	494	—	387	—
2020年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	25.44	24.96
2020年9月期第3四半期	—	—

(注) 2020年9月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年9月期第3四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	5,822	3,538	60.8
2020年9月期	5,038	3,153	62.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 3,538百万円 2020年9月期 3,152百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,377	—	437	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

マッチング事業への投資集中による順調な成長と生産性向上の取り組みが奏功したことにより437百万円の営業黒字を計上することとなったことから、業績予想数値を変更いたしました。詳細はP3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想など将来の業績予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	15,255,160株	2020年9月期	15,225,160株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	86株	2020年9月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	15,237,382株	2020年9月期3Q	15,215,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当社は『働き方革命～世界で最もたくさんの人に報酬を届ける会社になる』というビジョンを掲げ、創業以来、インターネットを活用して個人が報酬を得るための仕組みであるクラウドソーシングを中心としたオンライン人材マッチング事業を推進しております。近年、政府の掲げる「一億総活躍社会実現」における最大のテーマ「働き方改革」に沿って、潜在労働力となっている女性やシニア、障がい者などの活躍の機会拡大、会社員の副業・兼業など、企業に勤める以外の働く選択肢が広がり、個人の働き方への価値観は多様化しつつあります。また、2019年4月より「働き方改革関連法」が順次施行され、2020年4月には「同一労働同一賃金」の施行、2021年4月の「高齢者雇用安定法」の改正による70歳までの雇用延長など、従来の雇用制度を見直す動きが広がっております。

こうした流れを受け、従来の枠にとらわれない形で人材獲得を進めたい企業が増加しているほか、日本を代表する大企業も自社の従業員の収入増加、モチベーションの向上、優秀な人材の確保・定着などを目的として、従業員の副業・兼業を容認する動きが広がっております。また、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、企業規模・業種を問わず在宅勤務やテレワークを導入・活用する動きが広がり、社会全体でデジタルシフトが加速するなど、新しい働き方・新しい生活様式（ニューノーマル）に対応していく動きが広がっております。これにより、企業活動のデジタル化やEC化、それに伴う外部の専門人材（フリーランス・副業者・兼業者）の受け入れ拡大、インターネットを介して働くクラウドワーカーの活用など、人材調達に関する企業ニーズが変化しはじめており、当社を取り巻く市場にとって追い風となっております。

このような環境のもと、当社はコア事業であるマッチング事業への投資を集中する方針を定め、連結子会社を吸収合併して単体経営に移行したことにより、成長率増加と生産性向上の両輪により収益性の増加を図ってまいりました。その結果、当第3四半期累計期間においては、マッチング事業の総契約額、売上高、売上総利益の業績予想進捗率が75%超となったことに加え、生産性向上の取り組みが進展したことにより、当第3四半期累計期間においても営業黒字を実現いたしました。

エンジニア・デザイナー等の専門人材を求める企業からの需要は引き続き高く、インターネットを介しての外部専門人材やクラウドワーカーの活用は今後も増加が見込まれます。また、コロナ禍において多くの企業でテレワークの導入が進み、業務やマーケティングのデジタル化が進んだことから、オンラインによる事務アシスタント需要の増加や、エンジニア・デザイナーを中心とした高単価×高継続のハイエンド人材マッチングが好調であります。

ビジネス向けSaaS事業においては、フリーランスや社内人材の業務管理を効率的に行うSaaSサービスとして提供しているクラウドログの導入社数が順調に伸長しており、引き続き先行投資を継続していく予定です。

以上の結果、当第3四半期累計期間の当社業績は、売上高5,575,822千円、営業利益は437,613千円、経常利益は494,600千円、四半期純利益は387,635千円となりました。

(注) 当社は第2四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、四半期損益計算書に係る比較情報を記載しておりません。

セグメント業績については、次のとおりであります。

#### ① マッチング事業

当第3四半期累計期間のマッチング事業においては、選択と集中による投資継続と生産性向上プロジェクトの実施により、総契約額・売上高・売上総利益については業績予想に対し上振れて進捗しております。販売費及び一般管理費についてはWEB広告への投資を継続的に実施したほか、人員を増加し営業体制を強化しながらも生産性向上に取り組み、業績予想を超える営業利益を計上いたしました。

この結果、取引額の総額を示す総契約額は11,097,879千円、売上高は5,495,124千円、売上総利益は2,450,707千円、セグメント利益は580,723千円となりました。

#### ② ビジネス向けSaaS事業

当第3四半期累計期間のビジネス向けSaaS事業においては、企業向けの業務管理ツールの導入が過去最高を記録し順調に顧客数を拡大していることから、さらなる成長拡大に向けたマーケティング及び新機能開発やサービ

ス改善のための先行投資を実施しております。

このため、売上高及び売上総利益は80,459千円となり、セグメント損失は120,875千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は5,822,513千円となり、前事業年度末に比べ783,870千円増加しました。総資産の増加は子会社の吸収合併及び事業拡大に伴う流動資産の増加によるものであります。流動資産は5,415,096千円となり、主な内訳は、現金及び預金が3,947,605千円、未収入金が696,857千円、売掛金が685,599千円であります。固定資産は407,417千円となり、主な内訳は有形固定資産が74,329千円、無形固定資産が39,037千円、投資その他の資産が294,050千円であります。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は2,283,637千円となり、前事業年度末に比べ398,270千円増加しました。負債の増加は子会社の吸収合併及び事業拡大に伴う流動負債の増加によるものであります。流動負債は2,250,609千円となり、主な内訳は、預り金が1,127,808千円、未払金が594,849千円であります。固定負債は33,027千円となっております。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は3,538,876千円となり、前事業年度末に比べ385,599千円増加しました。純資産の増加は四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

企業の人材不足と多様な働き方を求める社会的機運の高まりにより、国内のオンライン人材マッチング市場は今後も中長期的に拡大が続くと想定されます。当社は『働き方革命～世界で最もたくさんの人に報酬を届ける会社になる～』というビジョンの達成に向け、2021年9月期はマッチング事業への投資集中・投資継続を図りながら生産性向上と事業構造改革に取り組み、通期黒字化を目指す方針です。

なお、当社は2020年9月期にグループ企業である株式会社ブレインパートナーを吸収合併し、受託事業の子会社2社を売却・撤退、2021年1月に連結子会社の株式会社ビズアシ及び株式会社gravieeの吸収合併を行うことで、単体経営に移行いたしました。この結果、第2四半期以降は非連結決算となっております。

業績予想に関する説明は以下のとおりです。

当第3四半期累計期間において、マッチング事業への投資集中による順調な成長と生産性向上の取り組みが奏功したため、通期の営業利益の予想を437百万円以上に上方修正いたしました。これにより、2021年9月期通期業績につきましては、総契約額14,435百万円以上、売上高7,377百万円以上、売上総利益3,265百万円以上、営業利益については437百万円以上となります。

セグメント別の業績につきましては、2021年9月期のマッチング事業の総契約額が14,335百万円以上、売上高7,277百万円以上、売上総利益3,185百万円以上、営業利益は637百万円以上へ上方修正いたします。第4四半期においても引き続き生産性向上に取り組み利益の最大化を目指しつつ、創出した利益の範囲内で新規事業への再投資を行うことで持続的な成長を図るための体制づくりを推し進めます。

ビジネス向けSaaS事業及びその他の新規事業においては、当初掲げた方針に変更はなく、将来の成長に向けた投資として積極的に取り組む方針であり、全社の通期黒字化達成の範囲内で投資を実行してまいります。

これにより、総契約額・売上高は100百万円、売上総利益は80百万円、営業利益は△200百万円となる見込みです。

(ご参考：当初連結ベースでの業績予想値について)

当社は第2四半期以降、非連結決算に移行したため上記の通り個別業績予想を公表いたしましたが、前会計年

度実績との比較の観点から、主要な経営指標として当初連結ベースの業績予想値を公表しております。

以下の経営指標については吸収合併した連結子会社である株式会社ビズアシ・株式会社gravieeの第1四半期業績を含めた数値をもとに修正を行った業績予想値となります。

【**【全社】**】 (%表示は、前年同期増減率)

	総契約額		売上高		売上総利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期 通期	14,786	△2.8	7,663	△12.2	3,381	1.8	463	—
(ご参考) 2020年9月期 通期	15,216	—	8,728	—	3,322	—	△298	—

【**【マッチング事業】**】

	総契約額		売上高		売上総利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期 通期	14,686	15.0	7,563	20.0	3,301	20.0	663	—
(ご参考) 2020年9月期 通期	12,771	—	6,302	—	2,751	—	△249	—

【**【ビジネス向けSaaS事業+その他新規事業】**】

	総契約額		売上高		売上総利益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期 通期	100	—	100	—	80	—	△200	—

(その他)

新型コロナウイルスの影響につきましては、2021年7月に緊急事態宣言が一部地域で再発令され、世界的な感染長期化に伴う景気影響など不確実な状況が続いておりますが、現時点で今後の方針に変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございます。

当社は、安心安全なプラットフォームを提供し続けるため、ユーザーの利用規約違反（決済サービスを利用した不正等）の可能性に対し厳格に対応しております。これに伴い出金審査の強化、審査体制の構築を目的として2021年6月25日からクイック出金機能を一時停止、2021年7月8日から2021年7月19日までタスク形式の新規発注を一時停止しておりましたが、本件による業績への影響は軽微であり、財務上のリスクは伴わないものとしております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,240,063	3,947,605
売掛金	581,398	685,599
未収入金	606,085	696,857
営業投資有価証券	51,148	31,020
その他	93,674	67,113
貸倒引当金	△13,050	△13,100
流動資産合計	4,559,319	5,415,096
固定資産		
有形固定資産		
建物	100,656	83,993
減価償却累計額	△53,582	△25,989
建物(純額)	47,073	58,004
工具、器具及び備品	48,683	45,233
減価償却累計額	△29,341	△28,907
工具、器具及び備品(純額)	19,342	16,325
建設仮勘定	4,323	-
有形固定資産合計	70,738	74,329
無形固定資産		
ソフトウェア	40,306	32,582
のれん	-	6,454
無形固定資産合計	40,306	39,037
投資その他の資産		
関係会社株式	201,243	75,986
繰延税金資産	22,144	15,446
その他	144,891	207,620
貸倒引当金	-	△5,002
投資その他の資産合計	368,278	294,050
固定資産合計	479,323	407,417
資産合計	5,038,643	5,822,513
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
未払金	481,168	594,849
未払費用	104,804	110,213
未払法人税等	28,267	109,618
預り金	1,026,730	1,127,808
前受金	43,427	135,892
資産除去債務	21,198	-
その他	46,761	72,227
流動負債合計	1,852,359	2,250,609
固定負債		
資産除去債務	33,007	33,027
固定負債合計	33,007	33,027
負債合計	1,885,366	2,283,637

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,688,567	2,691,267
資本剰余金		
資本準備金	2,646,567	2,649,267
資本剰余金合計	2,646,567	2,649,267
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,203,139	△1,815,504
利益剰余金合計	△2,203,139	△1,815,504
自己株式	△120	△120
株主資本合計	3,131,874	3,524,909
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,052	13,679
評価・換算差額等合計	21,052	13,679
新株予約権	350	287
純資産合計	3,153,276	3,538,876
負債純資産合計	5,038,643	5,822,513



## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,575,822
売上原価	3,053,918
売上総利益	2,521,904
販売費及び一般管理費	2,084,291
営業利益	437,613
営業外収益	
預り金失効益	35,177
その他	22,975
営業外収益合計	58,152
営業外費用	
支払利息	581
出資金運用損	538
その他	45
営業外費用合計	1,165
経常利益	494,600
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	15,593
特別利益合計	15,593
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	22,011
特別損失合計	22,011
税引前四半期純利益	488,182
法人税等	100,546
四半期純利益	387,635

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期会計期間より事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関して、会計上の見積りに用いた仮定は、第1四半期報告書の追加情報の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,495,124	80,459	5,575,583	238	-	5,575,822
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,495,124	80,459	5,575,583	238	-	5,575,822
セグメント利益又は損失(△)	580,723	△120,875	459,848	△22,235	-	437,613

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。